

第49回国頭地区中学校新人野球大会要項

1. 主催 国頭地区中学校体育連盟
2. 共催 沖縄県教育委員会 国頭地区市町村教育委員会 国頭地区PTA連合会
3. 期 日 令和4年11月26日(土) 開会式8:30 1回戦:8:30 (真喜屋9:00)
令和4年11月27日(日) 準々決勝・準決勝:9:00
令和4年12月4日(日) 決勝10:00・閉会式 10(日) 予備日(会場調整中)
4. 会 場 26日(土)・・・かいぎんスタジアム国頭(4) 真喜屋運動広場(3)
27日(日)・・・かいぎんスタジアム国頭(3) 真喜屋運動広場(3)
4日(日)・・・かいぎんスタジアム国頭(1)
5. 参加資格 (1) 地区中体連加盟校で会費納入済みの学校。
(2) 同一校で編成されたチームで学校長が参加を認めたチーム。合同チームの参加については、中体連会長から編成が適正であると認められた場合にかぎる。
(3) 参加校の引率、監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。但し、教職員以外のコーチ(1名)については学校長の認めた登録されたコーチでなければならない。
(4) 選手は定められた学校名入りのユニフォームを着用すること。(合同チームはその限りではない)
(5) 硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
(6) 1チームは選手20名、監督1名、コーチ2名(外部コーチ1名)、記録員1名の計24名以内とする。
(7) 参加にあたっては、各学校の服装・容儀規定を遵守し、基本的には各学校において指導を行う。
6. 競技規則 2022年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟競技者必携並びに本大会規定に準ずる。
【競技に関する連盟特別規則 8、学童部・少年部の投球数制限について】の適用
7. 大会規定 (1) 競技形式
① 試合方法はトーナメント方式とする。
② 試合は7回戦とする。但し、3回以降10点差、5回以降7点差以上の場合はコールドゲームとする。(決勝戦においても同様とする)
③ 7回を終了して同点の場合は、8回から無死一・二塁の継続打順性でタイブレークを行い、勝敗を決定する。勝敗が決するまでタイブレークは行う。
④ 同日に1チーム3試合は行わない。
⑤ 日没、降雨についてのコールドゲームは5回以降とする。それ以前の場合は継続試合(サスペンデッドゲーム)を適用する。
(2) 試合時間
① 試合は1時間30分と計算し、1時間前までには球場に到着していること。
(3) オーダー交換
① オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(記入・確認後速やかに提出)
② 攻守の決定は前の試合の4回終了時(第1試合は試合開始30分前)に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。
(4) 用具
① マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への持ち込みを禁止する
② 手袋を使用する場合は、「白」か「黒」色の高校野球対応の手袋を使用する。
(リストガード等の使用は禁止する)
③ ストッキングの形をしっかりと統一する。
④ 全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が完全に消えた用具は使用できない。
⑤ 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)とSGマーク入りの捕手用ヘルメット、マスクを使用する。また、スロートガード、レガース、プロテクター、ファウルカップを使用すること。(投球練習時の控え捕手も同様)また、打者、走者、次打者、ベースコーチ、バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)とSGマーク入った両側のイヤーフラップ(内側にスポンジ等)のついたヘルメットを使用すること。

(5) タイムアウト

① 監督が投手の所へ行く回数の制限

監督が、1試合に投手の所へ行ける回数は7イニングで3回以内とする。尚、特別延長戦においては、1イニングに1回行くことができる。

監督が同一イニングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなければならない。尚、その交代した投手が他の守備についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。

② 守備側と攻撃側のタイムの回数制限

捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は7イニングで3回以内とする。尚、特別延長戦となった場合は、1イニングに1回行くことができる。また、攻撃側についても同様とする。

野手(捕手も含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督が行けば、双方1度として数える。逆の場合も同様とする。

(6) ダッグアウト

① 抽選番号の若いチームを一塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。

② ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止する。

③ ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)

(7) その他

① チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォームを着用する。尚、スパイクも同色とする。(監督・コーチのシューズも同様)【シューズ・スパイクにおいては令和4年度の県夏季総体まで色の混在を認める。なお、高校野球対応のものとする。】

コーチ(教職員)の服装は平服でもよい。また、記録員はユニフォームか制服とする。

② 背番号は1~20番を使用し、原則としてポジション順とする。

③ 球場内でのグラウンドコートの着用はチームの統一されたものを着用すること。(指定ジャージ可)

④ アピールは当事者が監督に限る。

⑤ 試合中に起きた事故については応急処置のみとし、その後は各学校で責任を持って処置する。

8. 試合球 全日本軟式野球公認M号(内外)を使用する。

9. 表彰 (1) 優勝チームには優勝旗・賞状、準優勝チームには賞状を授与する。

(2) 3位のチームには賞状を授与する。(団体表彰のみ)

(3) 個人賞は殊勲・敢闘・打撃1位、2位に賞状を授与する。

10. 申し込み 令和4年11月9日(水)午後3:00締切 本部中学校 高良重雄 宛

11. 監督会 令和4年11月9日(水)午後4:00 場所:調整中

12. 参加料 登録選手一人あたり500円を監督会時に納入する

13. その他 (1) 北部地区中学校新人野球大会(ロータリー大会)のベスト4をシードする。

(2) 第13回KBC学園杯争奪 第26回沖縄県中学校新人軟式野球大会へ上位2校を推薦する。

【12月24日(土)~26日(月) 他】

(3) 雨天の場合は、専門部で連絡を取り、各監督へ確認する(午前7:30)

(4) 試合後のグラウンド整備及び次の試合の補助員は、割り当てられたチームや敗者のチームで責任を持って行う。(次の役員が来るまで責任を持って行っておくこと。)

(5) 球場内外の清掃は各チームで時間をかけて行う。

(6) ゴミの処理は各学校で責任を持って行う。(ゴミは確実に持ち帰る)

※会場のゴミ箱は使用しないこと。

(7) 投手の12秒及び20秒ルールの取り扱い基準においては、指導期間とする。